

令和4年度サービス水準評価結果(令和3年度実績)

施設概要

施設名称	板橋区立エコポリスセンター	所在地	東京都板橋区前野町4-6-1
所管課名	環境政策課	指定期間	平成29年4月1日～平成34年（令和4年）3月31日
指定管理者名	板橋エコみらいプロジェクト 代表者（株）小学館集英社プロダクション	指定管理者の 所在地	東京都千代田区神田神保町2-30
設置目的	誰もが快適に暮らせる社会を目指して、地域環境から地球的規模の環境にまで配慮した生活様式を普及推進することにより、人と環境が共生する都市の形成に寄与し、もって区民の生活環境の向上に資する。		
基本理念	①全ての区民に対し地球的規模の環境にまで配慮した生活様式を普及促進し、区民の生活環境の向上を図るため、センターの設置目的に基づく管理運営を行う。 ②区民・区民団体や企業・商店等、様々な主体の自主的な環境活動が活発になるよう、広報・プロモーション活動、情報交換・交流の場の提供等の支援を行い、区内全体の環境活動の活性化を図る。 ③区の環境施策を展開する活動の拠点としての役割を担うほか、土木部みどりと公園課、教育委員会の行政施策との連携・協力を行う。		
行動規範	・板橋区立エコポリスセンター条例、その他の環境法令やマニュアルを遵守する。 ・計画的、創意的な業務の遂行により経費を節減し、効率的な管理運営を実現する。 ・常に安全確保を優先し、安心して過ごせる空間を実現する。 ・要望や意見の把握、「もてなしの心」で対応に努め、高質なサービスをもって利用者増加を図る。 ・地域団体との連携や事業への参加等を通して、社会や地域に貢献する。 ・事業を内外から評価する仕組みを整備し、業務を改善し、説明責任を果たす。		
業務内容	環境教育の「居場所」としてのエコポリスセンターに生まれ変わらせる。「知る・気づく」→「考える・学ぶ」→「行動する」→「交流する・育てる」のサイクルを確立させ、区民が区民を育てる仕組みを構築する。また、多種多様な広報施策により来館者を増やすとともに、区内へのネットワークを活かし、地域とともに「板橋区の未来」を創造する。		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価（指定管理者による自己点検）					評価点		
			実施結果やサービス水準の増減理由など							
【施設の経営方針に関する事項】										
経営方針に基づく具体的な行動										
	基本 理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値（経過）					評価点	
					H29	H30	H31（R1）	H32（R2）		H33（R3）
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	①	板橋区の環境啓発施設としての拠点機能を活性化	来館者数の増加	目標	170,000	176,800	182,104	185,746	189,461	2 / 5
				実績	145,337	161,537	174,661	107,898	127,482	
				増減理由	令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、約1か月間(4月26日～5月31日)全館が臨時休館となった。また、11月27日、28日は受変電設備工事のため臨時休館せざるを得なかった。これら臨時休館に加え、コロナ禍前までに行っていた大規模集客イベントを開催せず、また、講座規模やイベント規模を縮小して実施するなど、感染症拡大防止対策の影響を大きく受けたため、目標値に届かなかった。					
		区民への環境学習・啓発の機会提供	一般区民を対象とした環境学習・啓発事業の開催	目標	89	92	95	97	100	5 / 5
				実績	91	111	132	97	101	
				増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コロナ禍前の水準よりも回数は減っているが、スタッフ一丸となり感染症対策(人数制限、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保など)を十分に講じた上でワークショップや講座を実施したことに加え、非接触で開催できるオンライン講座も実施したことで、昨年度よりも多く環境学習・啓発事業を提供し、目標値も達成することができた。 「リサイクルワークショップ:11回」「板橋エコみらい塾一般:3回」「環境講座:17回」「館内学習:6回」「わくわく工作:29回」「館内展示:35回」					
		環境に配慮した生活様式への意識付け	参加者アンケート等にて答えてもらう「My環境宣言」の回収	目標	500	520	540	560	580	2 / 5
				実績	738	781	576	381	299	
				増減理由	令和2年度までは、エコ・アクション・ハロウィーンやエコ・アクション・牧場など館内展示とあわせて環境宣言を募っていたが、令和3年度はそれら館内展示をエコアクション9にあわせて実施したため、講座アンケートの際に参加者に記載していただく環境宣言の回収が半数以上を占めた。なお、講座アンケートに記載いただいた回収数は令和2年度よりも増加している。					
	②	環境活動団体をはじめとした様々な利用者との連携・情報共有	「環境活動連絡会」の開催	目標	4	4	4	5	5	5 / 5
				実績	7	7	6	5	5	
				増減理由	登録環境団体の会員はおおむね60代以上の高齢者が多かったこともあり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、環境活動連絡会(5回)は全て文書開催とした。各団体の活動を長期間休止としている団体も多かったが、当館のイベントでご活躍できるような機会の情報提供に努め、予定通り概ね2か月おきの文書開催を実施することができた。					
		地域に根ざした広報活動	広報・プロモーション業務における地域・学校・企業等との連携	目標	20	22	25	28	30	5 / 5
				実績	31	33	41	8	30	
				増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不特定多数の参加者が想定される主催イベントは控えたことに加え、地域や学校、企業側のイベント参加や実施自体が中止となったこともあり、コロナ禍前よりも実績値を減少させざるを得なかったが、Webでの展開や非接触型の展示などを含め、できる限り地域や学校や企業との連携を図ったため、目標値に到達することができた。 【地域】緑のカーテン育成講習会(2回)、緑のカーテン料理講習会(1回)、緑のカーテンコンテスト(1回)、夏休みスタンプラリー(1回)、4館関連展示(1回)、地域エコロジー(12回)、エコポリゼミナール(1回)、エコポリ実行委員会(5回)、志村図書館展示(1回)、中央図書館展示(3回) 【企業】エコライフフェア夏(1回)、環境なんでも見本市(1回)					

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価（指定管理者による自己点検）						評価点
			実施結果やサービス水準の増減理由など						
③	世間一般への効果的な 広報活動	ホームページ訪問者数 の増加	目標	50,000	52,000	55,000	58,000	60,000	5 / 5
			実績	95,908	85,796	85,680	62,400	67,825	
			増減理由	数字はHPアクセス数とFacebookページのリーチ数の合算。令和3年度も継続してHP上でのWeb申込を受け付け、HPでのお知らせや報告などを行った。 令和2年度と比べ、環境なんでも見本市だけでなくエコライフフェア夏もWebでの開催を推進するなど、特にHPでの展開や周知に力を注いだため、HPのトップページアクセス数もそれに伴って増加した。					
	個人での環境活動拠点 としての機能の活性化	「エコライフサポーター」登録者の増加	目標	60	65	70	75	80	5 / 5
			実績	50	104	163	183	231	
			増減理由	引き続きインターネット上で申請用紙がダウンロードできることに加え、協定事業を結んでいる日本ペット&アニマル専門学校生や東京家政大学への呼びかけや、「板橋エコみらい塾」での呼びかけ、来館者への打診など幅広く呼び掛けたことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために多くの事業が中止となる中、昨年度よりも登録数が増加した。					
	団体での環境活動拠点 としての機能の活性化	「登録環境団体」の増加	目標	29	31	33	35	37	2 / 5
			実績	20	22	25	24	19	
			増減理由	継続申し込みが多い中、会員が高齢のため登録解除された団体もあり、総合的な団体数は減少した。登録環境団体を紹介するハンドブックも継続して刊行したり、登録環境団体の成果展示をエコボリスセンター内で定期的に行ったりと、登録環境団体についてのPRIは行っているが、直接的に新規の団体数は増えていない。エコライフサポーターや各種イベントで関わる団体に、登録環境団体制度の紹介などを引き続き行っていく。					
	教育委員会と連携した 事業の開催	教育委員会との「子ども環境大使」に関する 連携事業の実施	目標	4	4	5	5	6	4 / 5
			実績	4	4	5	5	5	
			増減理由	「出前授業」、「ヤコ救出作戦」、「身近な環境に関する標語・ポスター展」の周知(3件)を教育委員会と調整し、小学校と連携した事業を開催した。また、ユネスコスクールに指定された学校や、ユネスコスクール申請中の学校を対象にした「子ども環境大使」の任命を行い(1件)、各校の成果物を「WEB版環境なんでも見本市」に掲載・周知(1件)し、新型コロナウイルス感染症影響下でもオンラインで事業を実施し、教育委員会と連携を例年通りに図ったが、新規で行うことができなかった。					

* サービス水準の採点方法
（5点：達成率100%以上、4点：達成率90%以上100%未満、3点：達成率70%以上90%未満、2点：達成率50%以上70%未満、1点：達成率50%未満）